

議員特別研修実施報告書

報告議員名	菅原 正志	報告日	平成31年3月27日
調査研究・研修等 名 称	① 立地適正化計画 ② 地域公共交通ネットワーク形成計画		
実 施 日	平成31年 3月 25日		
会 場	東京 ハ重洲 カンファレンスセンター		
調査研究・研修等の 概 要	<p>1) 立地適正化計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア) コンパクトシティ + ネットワークの目的 イ) 地方都市の現状とコンパクトシティ ウ) 立地適正化計画の概要 エ) 立地適正化計画の取り組み状況 <p>2) 地域公共交通ネットワーク形成計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア) 地域公共交通の現状 イ) 地域公共交通の選択肢と運行主体 ウ) さまざまな交通統計 エ) ネットワーク形成計画の策定状況と策定時/見直し時のポイント カ) 地域で支える仕組みづくり 		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>横手市の計画を考えたがる聴くことができ、よく理解できた。一極集中ではない多極ネットワーク型コンパクトシティを目指している。実際に住んでいる人の声を反映する有識者だけによる計画策定・見直しはすべきではないことわかった。コンパクト + ネットワークを実現するためには、立地とネットワーク形成計画とを同じ時間軸で考える必要がある。</p> <p>また、観光振興等の地域戦略と一体性の確保は重要で、地域特性に応じた多様な交通サービスを考えていか</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

なければなりません

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。PDCAサイクル必須

議員特別研修実施報告書

報告議員名	菅原正志	報告日	平成31年3月27日
調査研究・研修等 名称	大人のひきこもり問題を考える		
実施日	平成31年3月26日		
会場	東京八重洲カンファレンスセンター		
調査研究・研修等の 概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ひきこもりの現状と課題 2. 合理的な社会投資としての若者支援 3. 行政支援の現状と課題 4. これからを見据えた行政支援のポイント 		
調査研究・研修等の 成果と感想	<p>ひきこもり調査からみられる40歳以上をどうするか。親80代、子50代という8050にならば解決は困難</p> <p>早期発見(不登校等を含めて)や予防的な対応が必要。また10年後、20年後を見据えた中期ビジョンが必要</p> <p>支援には社会的収益を含めた総合的なリターンを考へなければならぬ。</p> <p>本人のみならず家族を含めた支援をクロスセクターで取りくんでいくことが必要。大変有意義な講義でした。</p>		

※1調査研究・研修等の成果を証する書類の写しを添付してください。

※2調査研究・研修等に要した費用の支出を証する書類を添付してください。